

主要事業概要



上空から築川ダムを望む（盛岡市）

一級河川築川において建設が進められてきた「築川ダム」が令和3年7月に竣工しました。築川ダムは、洪水被害の低減のほか、既得取水の安定化、環境保全、水道用水の供給、発電を目的とした多目的ダムです。昭和53年の事業着手から43年の歳月をかけ建設されました。

盛岡広域振興局土木部

盛岡広域振興局土木部主要事業概要目次

《盛岡広域振興局土木部の業務概要》

1	盛岡広域振興局土木部の組織	1
2	盛岡広域振興局管内の予算概要	1
3	盛岡広域振興局所管の概要	1
(1)	概要	1
(2)	管理施設	1
4	土木部主要事業位置図	2

《盛岡広域振興局土木部の主要事業》

1 過去の教訓を踏まえた防災対策の推進

(1)	河川の氾濫による浸水被害等を未然に防止する河川施設の整備	
①	一級河川岩崎川 広域河川改修事業（矢巾町北矢幅）	3
②	一級河川木賊川 広域河川改修事業（滝沢市穴口）	4
③	一級河川北上川・松川広域河川改修事業（盛岡市玉山）	5
④	一般河川滝名川 総合流域防災事業（紫波町稲藤）	6

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備

(1)	市街地の円滑な交通の確保	
①	都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区街路事業（盛岡市盛岡駅西通二丁目～本宮）	7
②	都市計画道路 下鶴飼御庭田線 鶴飼八人打地区街路事業（滝沢市鶴飼八人打）	8
③	一般県道 大ヶ生徳田線 徳田橋架替整備事業（盛岡市黒川～矢巾町西徳田）	9
④	一般県道 矢巾停車場線 又兵エ新田地区 無電柱化推進事業（矢巾町又兵エ新田）	11
(2)	高齢化社会に対応した県営住宅の建替え・改善の推進	
①	公営住宅建設事業 県営青山アパートエレベーター改修工事（盛岡市西青山一丁目）	12
②	公営住宅建設事業 県営月が丘アパートエレベーター改修工事（盛岡市月が丘二丁目）	13
(3)	歩道整備や歩行空間確保の推進	
①	一般県道 古館停車場線 中島地区交通安全施設整備事業（紫波町古館）	14
②	主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区 交通安全施設整備事業（盛岡市浅岸）	15
③	一般国道 456 号・主要地方道紫波江繋線 星山地区道路改良事業（紫波町星山）	16
(4)	過去に整備された橋梁の長寿命化の推進	
①	主要地方道 盛岡横手線 新田町跨線橋 橋梁補修事業（盛岡市新田町）	18

3 産業経済活動を支える交通ネットワークの整備

(1)	県央圏域内外との交流を促進するネットワークの整備	
①	一般国道 282 号一本木地区道路改良事業（滝沢市一本木）	19

令和5年度 盛岡広域振興局土木部の業務概要

1 盛岡広域振興局土木部の組織

(R5.4.1現在)

土木部	部長		1名
	管理用地室	管理課、用地課	19名
	道路都市室	道路整備課、道路環境課	17名
	流域治水室	河川砂防課、網取ダム管理事務所	14名
	建築住宅室	建築指導課、住宅課	9名
	土木企画グループ		3名
土木部合計			63名
岩手土木センター			23名

2 盛岡広域振興局管内の予算概要(R05 県土整備部関係公共事業費:政策I)

(百万円)

圏域	所属	R05年度 当初	R04年度 当初	増減	増減率
盛岡広域	盛岡土木部	5,587	4,323	1,264	29.2%
	岩手土木センター	1,575	1,566	9	0.6%
盛岡広域計		7,162	5,889	1,273	21.6%
岩手県合計		68,090	67,012	1,078	1.6%

3 盛岡広域振興局所管の概要

(1) 概要

	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
市町村	2市 3町 盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町	1市 2町 八幡平市、岩手町、葛巻町	14市 15町 4村
面積	約 1,984km ² 県全体 13.0%	約 1,658km ² 県全体 10.9%	約 15,275km ²
人口	416,492人 県全体 35.3%	40,224人 県全体 3.4%	1,180,512人

※出典:面積 全国都道府県市区町村別面積調(R5.1)

岩手県人口移動報告年報(R4.10.1)

(2) 管理施設

道路	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
一般国道	106、282、396、455、456号 5路線	281、282、340号 3路線	16路線
	延長 125.6km 改良率 100%	延長 119.5km 改良率 100%	延長 9.9%
主要地方道	盛岡横手線 ほか7路線 8路線	二戸五日市線 ほか4路線 5路線	49路線
	延長 145.5km 改良率 94.4%	延長 102.7km 改良率 92.7%	延長 7.8%
一般県道	日詰停車場線 ほか34路線 35路線	藪川川口線 ほか8路線 9路線	190路線
	延長 236.2km 改良率 88.4%	延長 114.2km 改良率 88.3%	延長 7.0%
計	全48路線 507.3km	全18路線 336.4km	全255路線 4,170.8km
	延長 12.2%	延長 8.1%	

※出典:岩手の道路現況 R2.4.1現在

河川	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
一級河川	知事管理 38河川	知事管理 29河川	
	総延長 322.8km 11.4%	総延長 275.9km 9.7%	2,831km

※河川データ:R4.3現在(2級河川を含む)

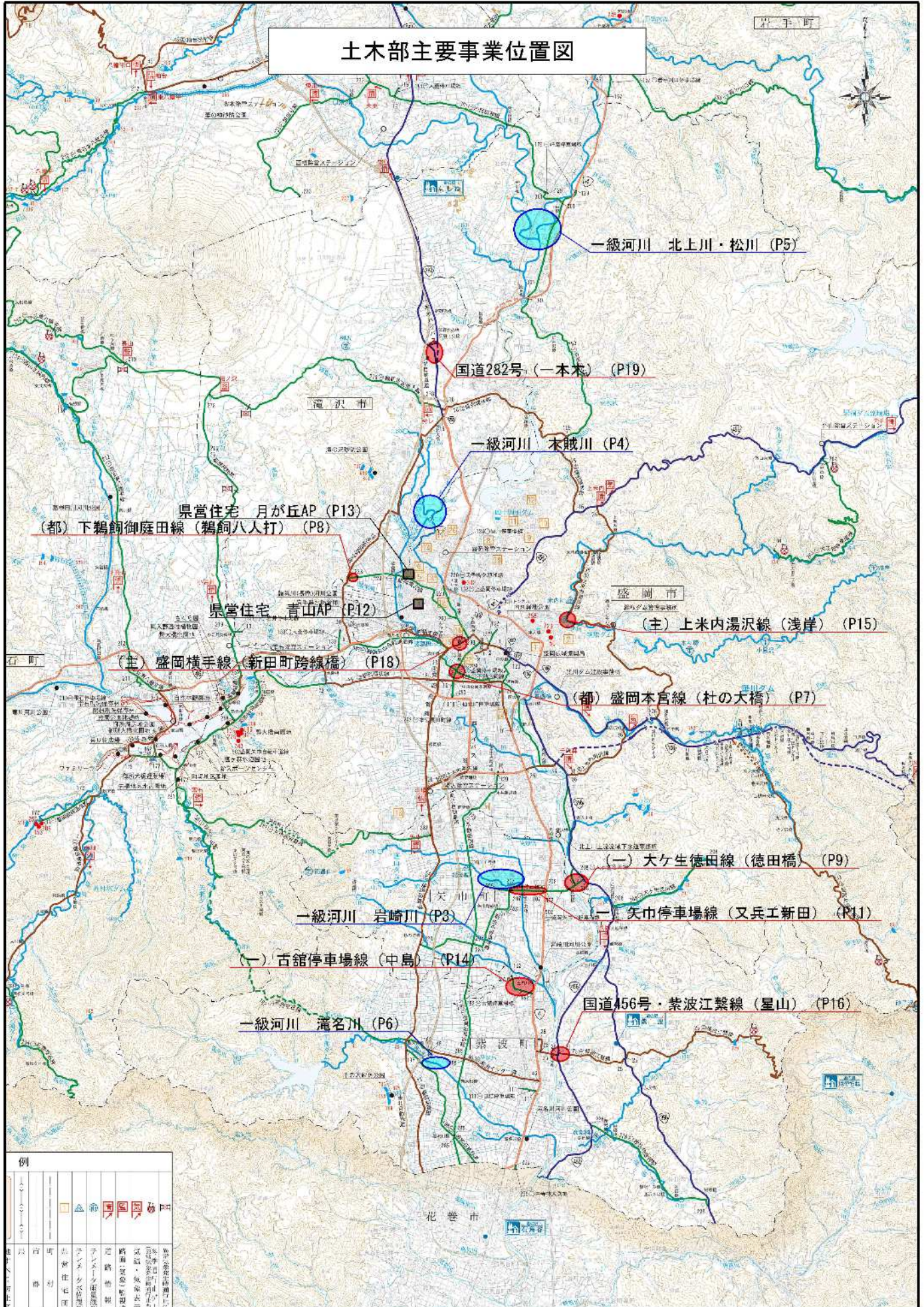
砂防等	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
土砂災害危険箇所	891箇所 6.7%	739箇所 5.6%	13,305箇所
うち区域指定済み	867箇所	739箇所	

※砂防等データ:R4.3現在

住宅	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
管理戸数	3,126戸 45.3%	-	6,894戸
入居率	76.4%	-	

※住宅データ:R5.1現在

土木部主要事業位置図



例	河川	道路	鉄道	市界	町界	村界	支庁界	国界
	河川							
	一級河川							
	河川							
	河川							
	河川							
	河川							
	河川							
	河川							
	河川							
	河川							
	河川							

1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	① 岩崎川 広域河川改修事業 (床上浸水対策特別緊急事業)
-------------------------	--------------------------------------	----------------------------------

一級河川岩崎川広域河川改修事業

- 事業名 広域河川改修事業 一級河川岩崎川
- 施行場所 北上川合流点～県道不動盛岡線まで
(このうち 床上浸水対策特別緊急事業は 芋沢川合流点～県道不動盛岡線まで)
- 事業期間 平成4年度～令和19年度 (1992～2037年度)
- 目的 矢巾町では、岩手医大病院移転など地域開発が進んでいる。しかし、町内を流れる岩崎川などでは、平成25年8月の大雨で382戸の家屋浸水被害が発生した。このため、岩崎川には床上浸水対策特別緊急事業を導入し、河道拡幅を中心に抜本的な河川改修を進め令和2年度完成した。これから、支川の太田川、芋沢川の改修を進める。
- 全体計画 ・全体延長 L=11.94km (岩崎川 7.94km 太田川 1.6km 芋沢川 2.4km)
・全体事業費 ΣC=20,414 百万円
- 計画諸元 ・流域面積 68.9 km² ・計画高水流量 520 m³/s (整備目標：計画規模 1/30)
- 事業進捗状況 単位：百万円

区分	全体額	R3迄	R4	R5	R6以降	進捗率 (事業費ベース)
全体事業費	20,414	15,789	20	0	4,605	77.4%
うち広域	9,980	5,355	20	0	4,605	53.9%
うち住関公	4,320	4,320	-	-	-	100%
うち床上	6,114	6,114	-	-	-	100%

事業実施

- 令和2年度まで 用地補償、河道掘削、護岸工、橋梁工、JR橋、堰撤去工事
- 令和3年度 水位周知河川指定、浸水想定区域指定
- 令和4年度 用地測量 (令和3年度補正予算)
- 令和5年度 修正設計、用地補償調査 (令和4年度補正予算)
- 令和6年度以降 用地補償、河道掘削、護岸工、橋梁工



浸水被害状況 (平成25年8月)



完成区間状況 (令和3年3月)

1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	② 木賊川 広域河川改修事業
-------------------------	--------------------------------------	----------------

とくさがわ
一級河川木賊川広域河川改修事業

事業名 基幹河川改修事業 一級河川木賊川
 施行場所 滝沢市 穴口 地内ほか
 事業期間 昭和 61 年度～令和 19 年度 (1986～2037 年度)
 目的 洪水の被害が度々発生していた木賊川の沿川は、市街地化が著しく、河道拡幅が困難であることなどから、諸葛川への分水路、遊水地、本川の河川改修により治水安全度を高める計画としており、周辺開発計画との調整を図るとともに、自然環境にも配慮しながら整備を進めている。



(平成 14 年 7 月 台風 6 号)

全体計画 ・全体延長 L=6,000m
 ・全体事業費ΣC=13,748 百万円
 計画諸元 ・流域面積 20.9 km² (整備目標：計画規模 1/50)

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R3 迄	R4	R5	R6 以降	進捗率 (事業費ベース)
事業費	13,748	5,736	338	168	7,506	44.2%

事業実施

- ・令和 3 年度まで 遊水地工事 (護岸工、分水路ほか)、設計・猛禽類モニタリング等
- ・令和 4 年度 遊水地工事 (洪水吐基礎工)、猛禽類モニタリング等
- ・令和 5 年度 遊水地工事 (洪水吐基礎工)、猛禽類モニタリング等
- ・令和 6 年度以降 遊水地工事、河川改修工事



1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	③ 北上川下流広域河川改修事業
-------------------------	--------------------------------------	-----------------

一級河川北上川・松川広域河川改修事業

事業名 広域河川改修事業 一級河川北上川下流
施行場所 盛岡市 玉山 地内
目的 平成 25 年 9 月の台風第 18 号豪雨によって浸水被害(床上浸水 20 戸、床下浸水 66 戸、計 86 戸)が発生したことから、治水安全度の向上を図るため、河川改修を行うもの。ハード対策の事業期間が長期となるため、ソフト対策として河川水位(水防警報、避難判断水位情報)の情報提供が重要であることから、松川(古川橋)と北上川(船田橋)を水位周知河川に指定している。

事業期間 平成 27 年度～令和 25 年度 (2015～2043 年度)
全体計画 ・全体延長 L=16.0km (北上川 9.7km+松川 6.3km)
 ・全体事業費Σ C=2,319 百万円
計画諸元 ・流域面積 1,078.5k m²
 ・計画高水流量 北上川 1,070m³/s 松川 740 m³/s (整備目標:計画規模 1/20)

事業進捗状況

単位:百万円

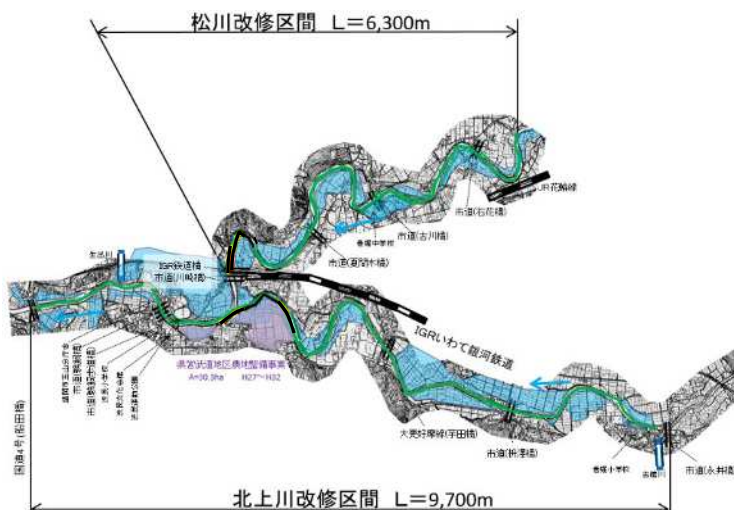
年度	全体額	R3 迄	R4	R5	R6 以降	進捗率(事業費ベース)
事業費	2,319	892	198	41	1,208	47.0%

事業実施

- 令和 3 年度まで 設計、用地測量、用地補償、河道掘削、築堤、護岸工
- 令和 4 年度 【北上川】樋門工、法面工 (R3 補正)
- 令和 5 年度 【松川】河川改修工 L=300m (R4 補正含)
- 令和 6 年度以降 設計、用地測量、用地補償、河川改修工事



被災状況(平成 25 年 9 月 松川)



令和 3 年度松川整備状況(令和 3 年 11 月)

1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	④ 滝名川 総合流域防災事業
-------------------------	--------------------------------------	----------------

一級河川滝名川総合流域防災事業

事業名 総合流域防災事業 一級河川滝名川
 施行場所 紫波町 稲藤 地内
 目的 地域住民の洪水被害軽減のため、牡丹野橋から新大松橋の間の河川改修工事を進めているもの。なお、付近に猛禽類等の生息が確認されていることから、自然環境にも配慮しながら事業を進めている。

事業期間 昭和44年度～令和7年度（1969～2025年度）

全体計画
 ・全体延長 L=9,000 m ・計画天端幅 55.2～58.0 m
 ・全体事業費ΣC=5,657 百万円

計画諸元
 ・流域面積 79.2 k m² ・計画高水流量 290m³/s （整備目標：計画規模 1/30）

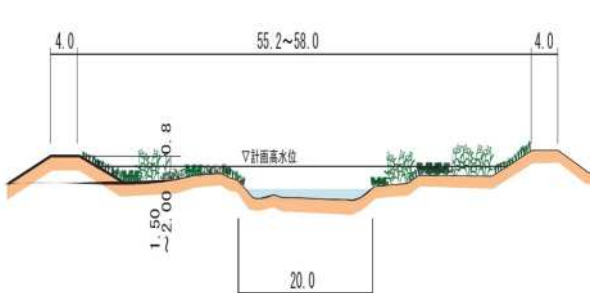
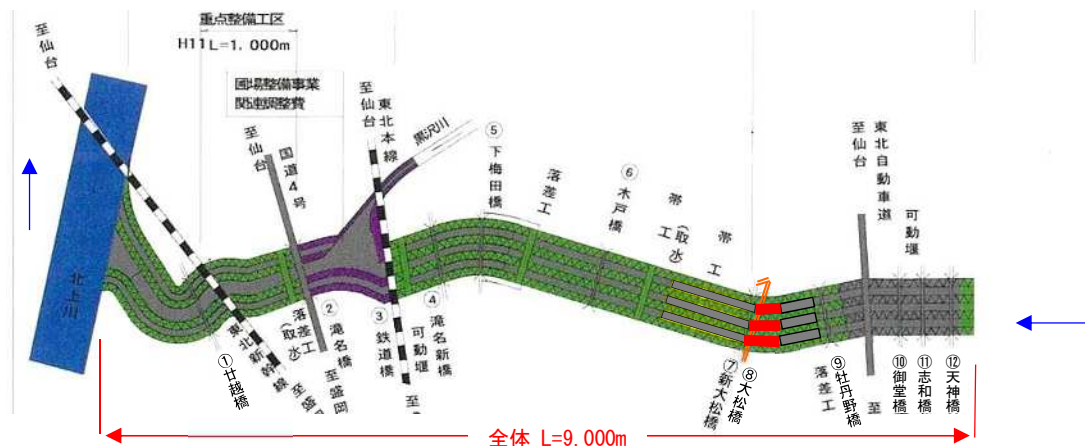
事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R3迄	R4	R5	R6以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	5,549	5,230	80	126	113	95.7%

事業実施

- ・令和3年度迄 河道掘削、築堤工、付替道路工、用地補償、環境影響調査
- ・令和4年度 河川改修工事、用地補償（令和3年度補正予算含）
- ・令和5年度 物件補償、河道掘削、築堤工



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(1) 市街地の円滑な交通の確保	① 都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区 街路事業
----------------------	------------------	-----------------------------

都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区 街路事業

事業名 街路 都市計画道路整備事業（社総交）
 施行場所 盛岡市盛岡駅西通二丁目～本宮字荒屋 地内
 事業期間 平成23年度～令和7年度
 目的 増加する交通量やバスの定時性・迅速性の確保に対応し円滑な交通を図るため、暫定2車線としていた道路の4車線化整備を行う。
 全体計画 全体延長L=919m W=23.0m～29.0m
 事業費ΣC=3,610百万円
 計画諸元 交通量 19,200台/日

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R3迄	R4	R5	R6以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	3,610	1,999	609	723	279	72.2%

事業実施

- ・令和3年度迄 環境調査、修正設計、中央公園高架橋工事、上部工工事
- ・令和4年度 上部工工事
- ・令和5年度 上部工工事
- ・令和6年度以降 上部工工事、照明設備工事、舗装工事



位置図



上部工施工状況（令和5年3月撮影）

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(1)市街地の円滑な交通の確保	②都市計画道路 下鶴飼御庭田線 鶴飼八人打地区 街路事業
----------------------	-----------------	------------------------------

都市計画道路 下鶴飼御庭田線 鶴飼八人打地区 街路事業

事業名 街路 都市計画道路整備事業
 施行場所 滝沢市 鶴飼八人打地内
 事業期間 平成30年度～令和6年度
 目的 都市機能の充実や生活利便性向上のため、幅の広い両側歩道の整備や車道の拡幅を行う。

全体計画 全体延長 L=300m W=18.0m
 事業費 ΣC=450 百万円

計画諸元 交通量 7,095 台/日(H42)

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R3迄	R4	R5	R6以降	進捗率(事業費ベース)
事業費	450	270	25	34	121	65.6%

事業実施

- ・ 令和3年度迄 道路測量設計、用地補償調査、街路工事
- ・ 令和4年度 街路工事
- ・ 令和5年度 用地補償
- ・ 令和6年度以降 街路工事



位置図



起点から終点を望む(令和5年3月撮影)

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(1) 市街地の円滑な交通の確保	③ 一般県道大ケ生徳田線徳田橋架替整備事業
----------------------	------------------	-----------------------

一般県道 大ケ生徳田線 徳田橋架替整備事業

事業名 道路メンテナンス事業補助

施行場所 盛岡市黒川～紫波郡矢巾町西徳田地内

目的 一般県道大ケ生徳田線は、盛岡市大ケ生を起点とし、矢巾町西徳田に至る路線であり、一般国道4号や盛岡南IC等の交通拠点と一般国道396号を結ぶ幹線道路であるとともに、地域住民の生活道路として重要な役割を担っている。

しかしながら、北上川を横過する徳田橋（S37架橋）は、老朽化が著しいこと、幅員狭小のため大型車のすれ違いが困難であること、橋梁付近において線形不良のため見通しが悪いことなどから、交通の安全性が確保されていない状況にある。

また、令和元年9月に岩手医科大学附属病院・岩手県高度救命救急センターが矢巾町藤沢地区へ移転し、救急搬送ルートの整備が急務である。

このことから、本事業により徳田橋を架け替え、幅員狭小区間を解消するとともに、橋梁付近の線形不良区間を改良し、安全で円滑な交通の確保を図るものである。

事業期間 平成23年度～令和10年度（令和5年度供用開始を目指す）

全体計画 L=1,200m W=6.5m(16.0m) 橋長365.0m 事業費C=9,065百万円

計画諸元 交通量9,200台/日(H42) 3種2級 設計速度V=60km/h

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R3迄	R4	R5	R6以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	9,350	5,490	1,236	1,000	1,624	71.9%

事業実施

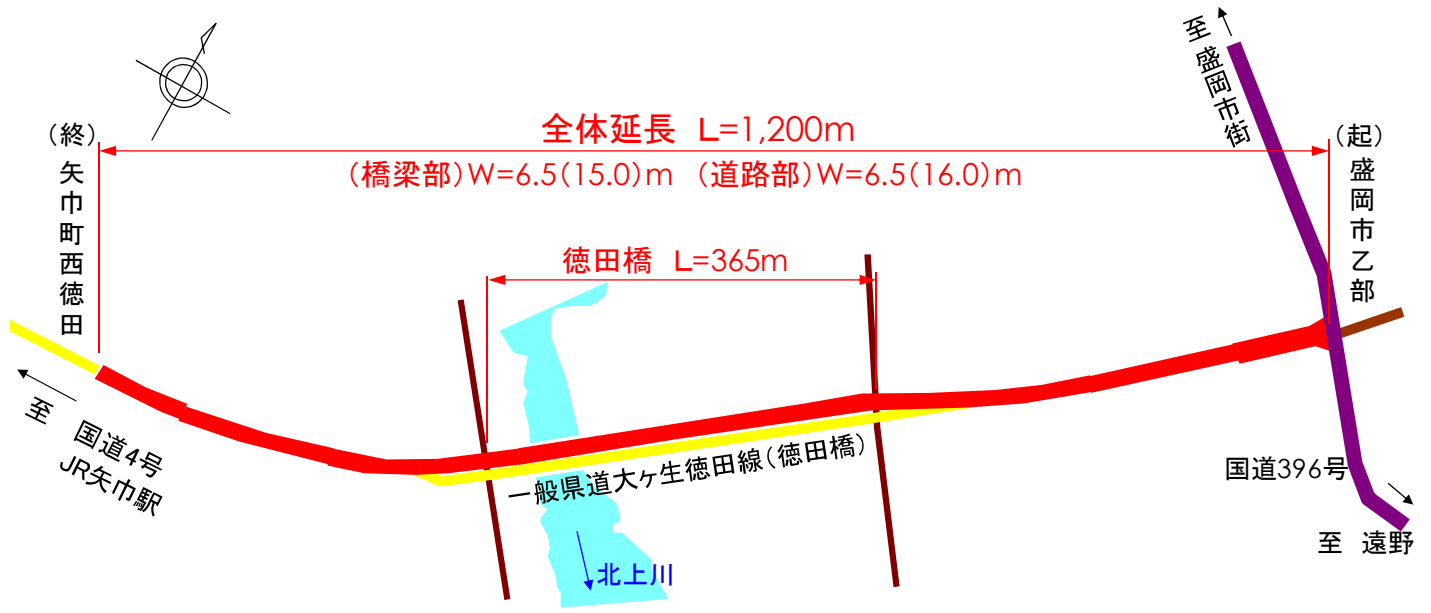
- ・令和3年度迄 調査測量設計、用地補償、橋梁下部工工事、上部工工事、道路改良工事
- ・令和4年度 上部工工事、道路改良工事
- ・令和5年度 橋面舗装工、道路改良工事、旧橋撤去工事(新橋供用後)
- ・令和6年度以降 旧橋撤去工事



現況

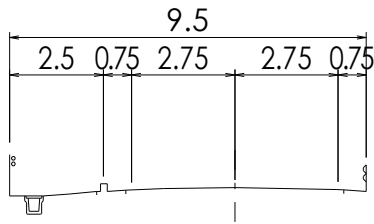


上部工施工状況（令和5年3月撮影）

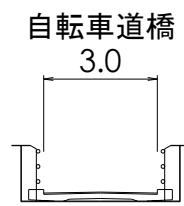


幅員構成 (単位 : m)

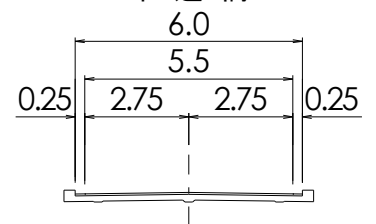
現況 (一般部)



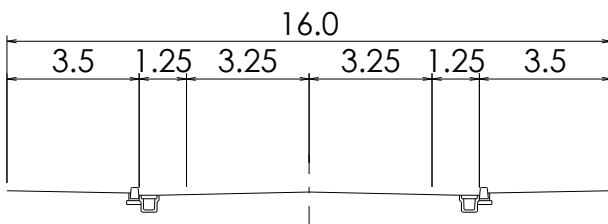
現況 (橋梁部)



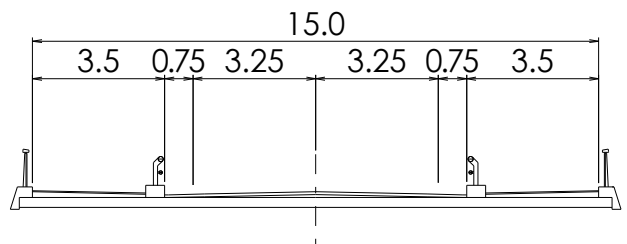
車道橋



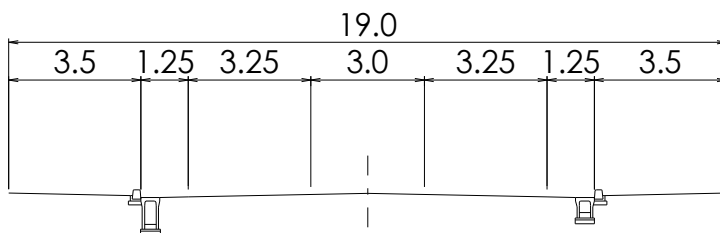
計画 (一般部)



計画 (橋梁部)



計画 (交差点部)



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(1) 市街地の円滑な交通の確保	④ 一般県道矢巾停車場線 又兵工新田地区無電柱化推進事業
----------------------	------------------	---------------------------------

一般県道矢巾停車場線 又兵工新田地区 無電柱化推進事業

事業名 道路環境改善事業（無電柱化推進）
 施行場所 矢巾町 又兵工新田地内
 事業期間 令和2年度～令和12年度
 目的 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策（H30.12.14閣議決定）」により無電柱化を推進するもの。電柱が倒壊し、交通が遮断されるおそれがあることから、電柱で架空配線している設備を地中の電線共同溝に集約し、無電柱化を図ることにより確実な交通機能を確保するものであり、併せて歩道に消融雪施設を導入し、冬季の快適な歩行空間を整備するものである。

全体計画 ・延長 L=2,270 m（道路延長 L=1,135 m）
 ・全体事業費 ΣC=2,000 百万円

計画諸元 交通量（H27調査）
 自動車 12,270 台/日、歩行者 224 人/12h、自転車 534 台/12h

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R4迄	R5	R6以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	2,000	581	100	1,319	29.1%

事業実施

- ・令和4年度迄 電線共同溝詳細設計、NTT施設譲渡契約
消融雪施設詳細設計、電線共同溝工事
- ・令和5年度 電線共同溝工事
- ・令和6年度以降 電線共同溝工事

（令和5年2月撮影）



（令和5年1月撮影）

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(2) 高齢化社会に対応した 県営住宅の建替え・ 改善の推進	① 公営住宅建設事業 (県営青山アパートエレベーター 改修工事)
----------------------	--------------------------------------	--

公営住宅建設事業（県営青山アパートエレベーター改修工事）

事業名	公営住宅建設事業				
施行場所	盛岡市 西青山一丁目地内				
目的	既設の県営住宅のうち、老朽化したエレベーターを更新改修するものである。				
事業期間	令和4年度～令和5年度				
全体計画	1号棟～7号棟 鉄筋コンクリート造4階建 各16戸				
全体事業費	148,210千円				
事業進捗状況	単位：千円				

年度	全体額	R4	R5	R6	進捗率（事業費ベース）
事業費	148,210	71,480	76,730	-	48.2%

事業実施

令和4年度	設計	1～7号棟
	工事	1・2・6号棟
令和5年度	工事	3～5・7号



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(2) 高齢化社会に対応した 県営住宅の建替え・ 改善の推進	② 公営住宅建設事業 (県営月が丘アパートエレベーター改修工事)
----------------------	--------------------------------------	-------------------------------------

公営住宅建設事業（県営月が丘アパートエレベーター改修工事）

事業名	公営住宅建設事業
施行場所	盛岡市 月が丘二丁目地内
目的	既設の県営住宅のうち、老朽化したエレベーターを更新改修するものである。
事業期間	令和5年度～令和6年度
全体計画	1号棟～4号棟 鉄筋コンクリート造6階建、4階建 全136戸
全体事業費	89,224千円
事業進捗状況	単位：千円

年度	全体額	R5	R6	R7	進捗率（事業費ベース）
事業費	89,224	22,663	66,561	-	-

事業実施

令和5年度	設計	1～4号棟
	工事	4号棟
令和6年度	工事	1～3号



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(3) 歩道整備や歩行空間確保の推進	① 一般県道 古館停車場線 中島地区交通安全施設整備事業
----------------------	--------------------	---------------------------------

一般県道 古館停車場線 中島地区 交通安全施設整備事業

事業名 道路環境改善事業（交通安全施設整備）
 施行場所 紫波町 古館地内
 事業期間 令和3年度～令和10年度
 目的 当該地区は、古館駅に繋がる本路線の落合橋を含む一部区間において、歩道が未整備または狭隘区間となっていることから、町が行うロータリ整備と併せて整備し、歩行者の安全を確保するものである。

全体計画 ・延長 L=210 m（内歩道橋 L=19m） ・歩道幅員 W=5.5(7.0)m+2.5m
 ・全体事業費 ΣC=155 百万円

計画諸元 交通量（H27 調査）
 自動車 3,663 台/日（うち大型車 259 台/日）、歩行者 199 人/12h、自転車 172 台/12h

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R3 迄	R4	R5	R6 以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	250	31	50	131	38	32.4%

事業実施

- ・令和4年度迄 地質調査・詳細設計・用地測量・用地調査・歩道橋設置工事
- ・令和5年度 歩道橋設置工事
- ・令和6年度以降 歩道設置工事・道路台帳整備

<位置図>



<現況写真>



(令和5年3月撮影)

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(3) 歩道整備や歩行空間確保の推進	② 主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区交通安全施設整備事業
----------------------	--------------------	---------------------------------

主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区 交通安全施設整備事業

事業名 道路環境改善事業（交通安全施設整備）
 施行場所 盛岡市 浅岸地内
 事業期間 令和4年度～令和7年度
 目的 当該地区は、山岸小学校の通学路にも指定されているが、一部歩道が未整備であり、歩行者が危険な状況となっていることから、歩道を整備し、歩行者の安全を確保するものである。

全体計画 ・延長 L=280 m ・歩道幅員 W=2.5 m
 ・全体事業費 ΣC=208 百万円

計画諸元 交通量 (H27 調査)
 自動車 2,354 台/日 (うち大型車 266 台/日)、歩行者 33 人/12h、自転車 35 台/12h

事業進捗状況 単位：百万円

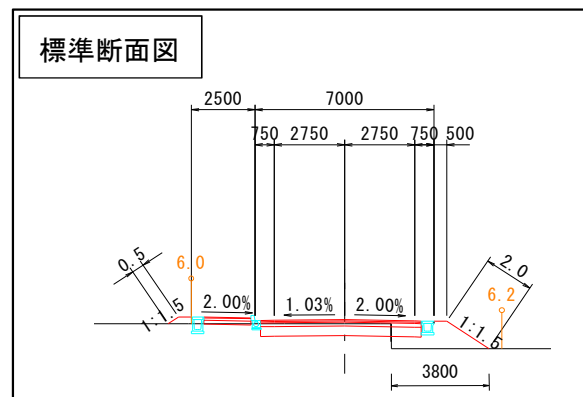
年度	全体額	R4 迄	R5	R6 以降	進捗率 (事業費ベース)
事業費	208	9	50	149	4.3%

事業実施

- ・令和4年度迄 測量・詳細設計
- ・令和5年度 用地測量、用地取得、物件補償
- ・令和6年度以降 物件補償、歩道設置工事



現況写真



標準断面図

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(3) 歩道整備や歩行空間確保の推進	③ 一般国道 456 号・主要地方道紫波江繫線星山地区道路改良事業
----------------------	--------------------	-----------------------------------

一般国道 456 号・主要地方道紫波江繫線 星山地区道路改良事業

事業名 社会資本整備総合交付金（広域連携事業）（観光）

施行場所 紫波郡紫波町星山地内

目的 一般国道 456 号は、盛岡市を起点とし宮城県気仙沼市へ至る延長約 150km の主幹線道路であり、地域形成型広域道路に位置付けられているほか、緊急輸送道路に指定され、物流・交流連携路線として重要な役割を担っている。

また、主要地方道紫波江繫線は、紫波町日詰を起点とし宮古市江繫へ至る延長約 58km の幹線道路であり、地域形成型広域道路に位置付けられ、早池峰山への主要なアクセス道路であるとともに、地域の生活道路として重要な役割を担っている。

しかしながら、当該箇所は紫波江繫線が 456 号と食い違い交差となっており右折車線が未整備であることに加え、紫波東学園の通学路であるにもかかわらず車道・歩道・路肩幅員が狭小で一部区間は歩道が未整備であるため、歩行者や車両の安全で円滑な通行の支障となっている。

このことから、食い違い交差を解消し右折車線を整備するとともに所要の車道・歩道・路肩幅員を確保し、安全で円滑な交通の確保を図るものである。

事業期間 平成 28 年度～令和 7 年度

全体計画 L=1,540m(456 号：L=570m、W=6.5m(14.5m)、紫波江繫線：L=970m、W=6.0m(11.5m))

計画諸元 交通量 456 号 5,688 台/日、第 3 種 2 級、設計速度 V=50km/h

紫波江繫線 1,305 台/日、第 3 種 3 級、設計速度 V=40km/h

事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R3 迄	R4	R5	R6 以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	1,260	792	3	150	315	63.1%

事業実施

- ・令和 3 年度迄 道路測量設計、用地補償調査、用地補償、埋蔵文化財調査、道路改良工事
- ・令和 4 年度 用地補償、道路改良工事、舗装工事
- ・令和 5 年度 道路改良工事、舗装工事
- ・令和 6 年度以降 道路改良工事、舗装工事

写真（令和 5 年 3 月撮影）

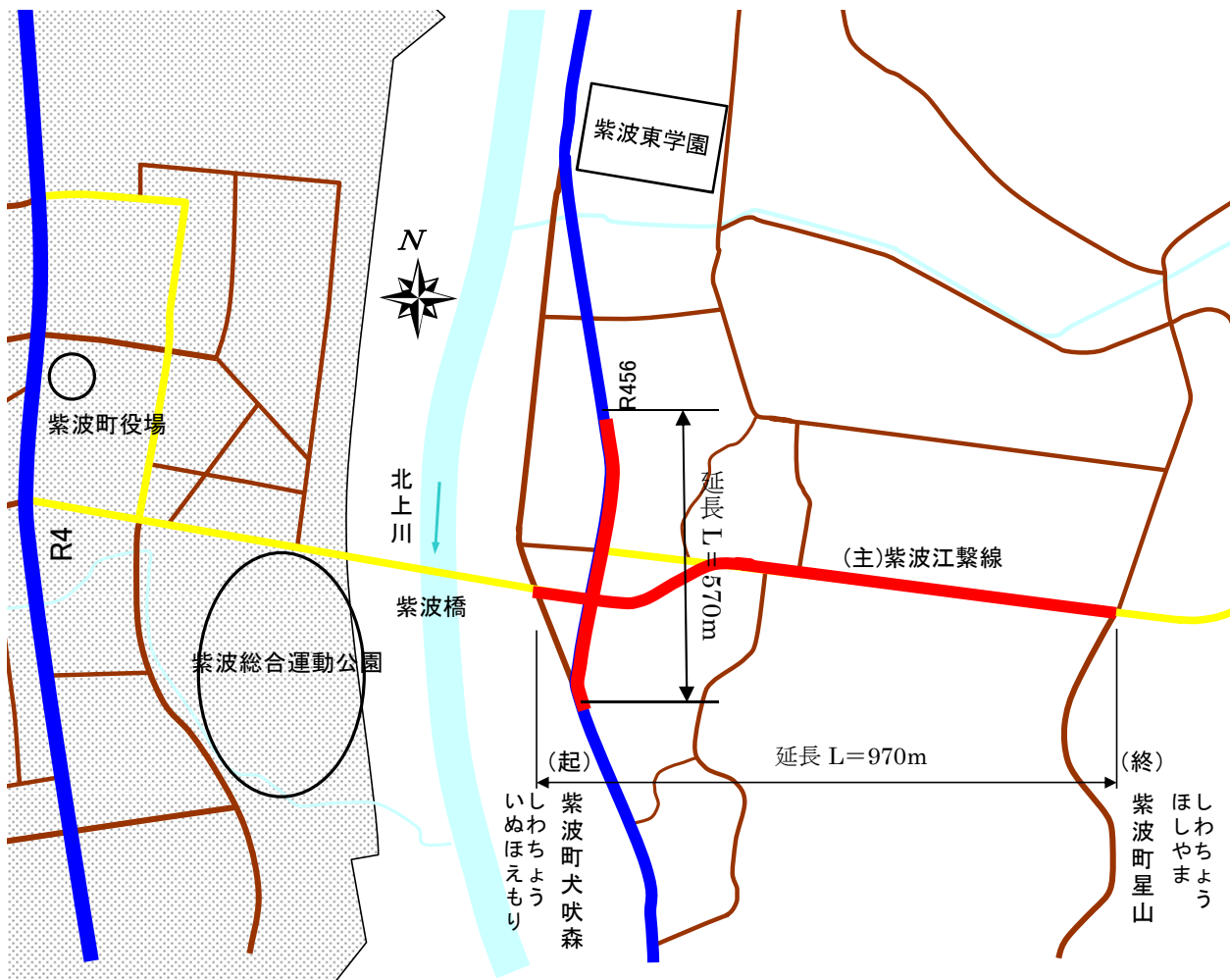


道路改良（一般国道 456 号終点側から望む）



道路改良（紫波江繫線起点側から望む）

【位置図】



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備

(4) 過去に整備された橋梁の長寿命化の推進

① 主要地方道盛岡横手線
新田町跨線橋橋梁補修事業

主要地方道 盛岡横手線 新田町跨線橋 橋梁補修事業

事業名 道路環境改善事業（橋梁補修）
施行場所 盛岡市 新田町 地内
事業期間 令和2年度～令和6年度
目的 主要地方道盛岡横手線は、岩手県盛岡市から秋田県横手市に至る重要な路線であり、緊急輸送道路に指定されている。本橋は JR 東北本線等の横断のため架けられたものである。このことから、老朽化に伴う鉄道への影響を回避し、また、災害発生後の救助・救援活動や緊急物資輸送などを迅速かつ的確に行うため、老朽化対策を行い、安全性を確保するものである。

全体計画 ・全体延長 L = 226.36 m ・事業費 Σ C = 900 百万円
 ・主な工種：伸縮装置取替、橋面防水、橋面舗装、地覆補修、防護柵補修、支承防錆、上面増厚、橋脚補修、橋台補修、JR協定工事

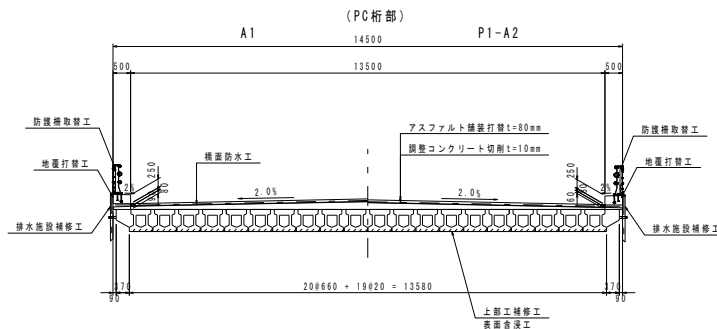
計画諸元 交通量 (H27 調査)：自動車 21,328 台/日 (うち大型車 1,901 台/日)

事業進捗状況 単位：百万円

年度	全体額	R 4 迄	R 5	R 6 以降	進捗率 (事業費ベース)
事業費	900	432	180	288	48.0%

事業実施 令和3年度迄 補修設計、橋脚補修、橋台補修
 令和4～6年度 伸縮装置取替、橋面防水、橋面舗装、地覆補修、防護柵補修、支承防錆、上面増厚、橋脚補修、橋台補修、JR協定工事

標準断面図 S=1:80



3 産業経済活動を支える交通ネットワークの整備	(1) 県央圏域内外との交流を促進するネットワークの整備	① 一般国道 282 号一本木地区道路改良事業
-------------------------	------------------------------	-------------------------

一般国道 282 号一本木地区道路改良事業

事業名 社会資本整備総合交付金（広域連携事業）（観光②）
 施行場所 滝沢市 一本木地内
 目的 一本木地区は、冬季期間頻繁に路面凍結する高速道路橋梁下を通過する箇所が 2 箇所あるほか、住宅地区では幅員が狭く歩道のない区間や局部的な急カーブが存在し、交通事故も発生している。このため、平成 6 年度に事業着手し、平成 22 年度に北側約 2.8km を部分供用したが、残り約 1.1km については用地取得が難航し、事業が休止状態となった。その後、令和元年に交渉を進め令和 2 年に用地を取得できたことから、同年の 9 月補正で事業化し全線供用に向け工事を進めることとなった。

事業期間 平成 6 年度～令和 6 年度
 事業計画 L=3,940m（供用済み区間を含む）
 全体事業費 C=7,550 百万円

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R3 迄	R4	R5	R6 以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	7,550	6,948	372	30	200	97.0%

事業実施

- ・ 令和 3 年度まで 用地補償 道路改良工
- ・ 令和 4 年度 道路改良工
- ・ 令和 5 年度 道路改良工
- ・ 令和 6 年度以降 道路改良工、旧道補修

【位置図】



【現況及び未供用区間部写真】



【起点から未供用区間を望む（令和5年3月撮影）】



【未供用区間終点から供用区間を望む（令和5年3月撮影）】

